

summer
2026.
7

しろひげファミリーの最新情報をおとどけ！

しろひげ便り



医療法人社団 しろひげファミリー

しろひげ在宅診療所

一日一日を大切に、 その人らしい暮らしを。

夏の陽射しが少しずつ力を増し、木々の緑もいっそう鮮やかになってきました。窓を開けると風が通り、蝉の声や子どもたちの笑い声が聞こえてくる。そんな何気ない夏の景色の中にも、「今日という一日を大切に生きること」の豊かさを感じます。

私たちが在宅診療で向き合っているのは、病気だけではなく、一人ひとりのいのちであり、その人らしい暮らしであり、大切な人と過ごす時間です。苦痛を和らげることはもちろん大切ですが、それ以上に、「家で過ごせてよかった」「今日も笑顔で過ごせたね」と思える時間を、地域の皆さんと一緒ににつくっていくことが私たちの願いです。

その幸せは、決して誰か一人の力では生まれません。ご家族の思い、医療や介護、福祉に携わる皆さんの優しさ、そして地域のさりげない支えが重なり合って、一つの暮らしが守られています。

この夏も、一人でも多くの方が「今日もいい一日だったね」と笑顔で一日を終えられるように。そして、その一日一日が、その人らしい人生につながっていくように。しろひげ在宅診療所は、地域の皆さんとともに、一つひとつのいのちと暮らしに寄り添いながら、その当たり前の幸せをこれからも大切に取り続けていきたいと思っています。



104歳のお誕生日を
一緒にお祝いました！



しろひげ在宅診療所 院長

やまなか みつしげ

山中 光茂



テーマ

“できること”よりも、 “できていること”を感じるということ

しろひげ在宅診療所 院長 山中 光茂

在宅診療の現場では、「もうできなくなったこと」に目が向かがちです。歩けなくなった、食べられなくなった、会話が減ってきた——そうした変化は、患者様ご本人にとっても、ご家族にとっても、大きな不安や喪失感につながります。

しかし私たちは、その一方で「今できていること」にも目を向けることを大切にしています。たとえば、以前のように長く会話はできなくても、声をかけると少し表情が和らぐ方がいます。食事の量は減っても、好きだった味を一口だけでも楽しめる方もいます。ベッド上での生活になっても、窓から差し込む光や、外の空気の変化を感じ取っている方もいらっしゃいます。

こうした「ちょっとしたこと、でもしっかりできていること」は、ともすると見過ごされてしまいがちですが、その方の人生や尊厳を支える大切な要素です。そして、それに気づき、言葉にし、ご家族と共有することは、在宅医療の重要な役割の一つだ

と感じています。あるご家族が、「何もできなくなってしまったと思っていたけれど、まだこんな表情を見せてくれるんですね」と涙ながらに話してくださったことがありました。その瞬間、ご本人の存在が「できないこと」ではなく、「そこにいることの素敵さ」をしっかりと受け止められたように感じました。

在宅診療は、治す医療だけでなく、その人の「今」を見つめ、その価値をとともに見出していく医療です。「できること」を追い求めるだけでなく、「できていること」に気づくこと。その積み重ねが、穏やかな時間を支えていくのだと思います。これからも私たちは、一人ひとりの中にある小さな灯りを見逃さず、ともに寄り添っていきたくと思っています。





しろひげ職員インタビュー

医療秘書部 小倉 宏昭 主任

運転だけじゃない！
スムーズな診療体制を支える

患者さまとご家族に安心を届けたい



▲ 診療の物品チェックも大切な業務の一つ。

Q. 普段はどのようなお仕事をメインにされているのでしょうか？

私たちのメイン業務は、医師や看護師を乗せて患者様のご自宅まで安全に車を運転することです。また、直接患者様やご家族と関わる業務として、「翌日の診療予定」をお電話でお伝えしています。訪問診療は基本的に2週間に1度のペースとなるため、「明日は何時ごろに先生が来てくれるのかな」とご不安に思われる方もいらっしゃいます。私たちがスケジュールを直接しっかりとお伝えすることで、ご家族が予定を立てやすくなるようサポートしています。また、**お電話に出いていただいた方に合わせて話し方を工夫**し、連絡漏れが起らないよう徹底して心がけています。

Q. 夜間、緊急時の場面では、どのようなサポートをしていますか？

夜間は診療所の当直室で待機しています。仮眠をとる時間もありますが、入職したばかりの頃は「いつ電話が鳴るだろう」と緊張してしまい、実は全く眠れませんでした。今ではすっかり慣れ、緊急の電話や目覚ましが鳴れば、パッと飛び起きてすぐに現場へ駆けつけられるようになりました。

夜間の急な往診では、看護師が同行しないため、私たちがより積極的にサポートに入ります。ご家族が不安を抱えやすい夜間だからこそ、医師が少しでも早く診察や処置に専念できる環境づくりが重要です。そのため、毎朝のカンファレンスで体調に変化がありそうな患者様の情報を共有し、ご自宅までのルートを事前に確認するなど、常に緊張感を持ってサポートしています。

Q. 命に関わる責任の大きな仕事ですが、スタッフの皆さんの雰囲気はいかがですか？

命に関わる責任の大きい仕事ですが、その分「**患者様やご家族の安心に直接繋がっている**」という実感が持てる仕事です。最初はプレッシャーを感じるスタッフもありますが、チームのサポート体制もあり定着率は高いです。

現場で患者様と直接お会いする機会は少ないものの、日々の情報をもとに翌日の診察時間をご連絡するなど、間接的な関わりの中にも大きなやりがいを感じています。これからもスタッフ同士で協力し合いながら、ご家族の療養生活を支える「**縁の下の手持ち**」として寄り添ってまいります。

黒川事務長より 診療科目変更に関するお知らせ

【令和8年6月1日より医療費の負担金が変わりました】

しろひげ在宅診療所では、常勤医師による24時間365日の体制のもと、緊急往診への対応や、重症・独居の方など、どんな状況の方へも病院同様の体制で在宅療養をサポートしています。昨年度は約300名の患者様をご自宅でお看取りさせていただきました。

今回の診療報酬改定では、このような取り組みを継続する限られた医療機関が新たに評価される仕組みとなり、当院もその対象となりました。今後も住み慣れたご自宅で安心して過ごせるよう、質の高い在宅医療に努めてまいります。医療費についてご不明な点がございましたら、お気軽に医師またはスタッフまでお声がけください。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

お気軽に
ご相談
ください。



黒川事務長

しろひげ在宅診療所が大切にしていること

私たちは、医療だけでは解決できない地域の課題にも向き合いながら、さまざまな専門職や地域の皆さまと連携し、「誰一人孤立させない地域づくり」を目指しています。在宅診療を中心に、介護・訪問看護・生活支援・子ども若者支援・社会参加就労支援・地域連携まで、一人ひとりの暮らしを支える仕組みを広げています。



わたしたちは、在宅医療を本気でやっています。

わたしたちは、「住み慣れた地域で、その人らしく暮らし続けたい」という想いに寄り添い、医療・介護・福祉・地域と連携しながら在宅医療を提供しています。24時間365日の診療体制のもと、一人ひとりの人生やご家族の想いを大切に、安心して暮らせる毎日を支えています。これらの数字は、地域に寄り添い続けてきた私たちの歩みと、安心して暮らせる在宅医療を支える体制を表しています。

看取り数

300件
(2025年)

常勤医師数

18名

対応

24時間 365日
常勤医師が対応

新ドクター紹介



このたび新たに桐生先生、長谷川先生を迎え、しろひげファミリーに心強い仲間が加わりました。新たな診療体制のもと、地域の皆さまにより安心していただける在宅医療を目指してまいります。



きりゅう やすお
桐生 康生 先生

専門 公衆衛生、内科 (火・水・木・金)

出身地 群馬県



専門欄に「公衆衛生」と書きましたが、「公衆衛生」という言葉に馴染みがない方も多いかもしれません。公衆衛生医は、保健所や検疫所、産業医、健診医などの分野で活動する医師です。私は保健所や検疫所などで勤務してきました。これまで培った公衆衛生の知識や経験を活かし、地域の皆さまの健康を支える診療にも役立てていきたいと考えています。

プライベートの桐生先生は...

趣味 旅行、読書、将棋観戦



はせがわ ゆうき
長谷川 勇輝 先生

専門 内科 (月・火・水)

出身地 神奈川県川崎市



初めて訪問診療に関わったのは、東京の離島である伊豆大島を地域実習で選んだときです。そこで往診に携わる機会をいただき、患者さん一人ひとりの生活や背景に寄り添う地域医療・在宅医療の大切さを実感しました。この経験を通して訪問診療への関心が深まり、地域医療に携わりたいという思いが強くなりました。まだまだ未熟ではありますが、一つひとつの経験を大切に、日々学び続けながら成長していきたいです。

プライベートの長谷川先生は...

趣味 ミュージカル鑑賞、ダンス、クレープ作り



お看取りさせて頂いた患者さまのご家族からのお手紙



生前撮影して頂いた動画をようやく見てみる気持ちになり、
102日目の今日、ゆったりした気持ちで見ました。
ありがとうございます♪最高のプレゼントです。
皆さんに見守っていただきながら、幸せな仕舞い方が出来ました。
あたたかく明るく接して頂き、心から感謝です。
ありがとうございます(^^)





しろひげファミリー 夏のイベントスケジュール



▲お申込みフォームはこちら

7/29(水) 16:00~

ひとりで抱え込まないための「おはなし会」

@ひげぞ~のもぐもぐCAFE 不登校の子どもをもつ保護者向け

7/29(水) 14:00~

認知症サポーター養成講座 平井小松川熟年相談室 主催

@小松川さくらホール集会室第2

8/1(土)

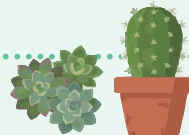
江戸川区花火大会

おいもとコーヒーファクトリー出店!

8/4(火)

夏休み子ども向け植物ワークショップ

@ひげぞ~のもぐもぐCAFE



8/6(木)/21(金)

夏ジュニアフェスティバル @ひげぞ~のワンダーLAB

HADOで遊ぼう! 8/6(木)は、東京23FCの選手が遊びに来ます!



8/9(日)

ひげぞ~のワンダーLAB縁日 @ひげぞ~のワンダーLAB

子ども縁日スタッフ体験募集中!

8/16(日)

ともにビール祭り @新川さくら館

おいもとコーヒーファクトリー出店!



8/19(水) 13:30~

介護離職予防 @小松川さくらホール集会室第2

レスパイト入院やショートステイの使い方 平井小松川熟年相談室 主催

8/28(金) 17:30~

しろひげ夏祭り 今年はひげぞ~みこしが登場!

@しろひげ在宅診療所 本社屋1F (コミュニティスペース)

9/11(金)

ワンダーLAB夏祭り @ひげぞ~のワンダーLAB



「たゆわごんプロジェクト」始まります!

「居場所がない」だから「居場所」をつくりたい

私たちはこれまで、地域食堂や相談支援、イベントなどを通して地域の中に居場所をつくる活動を続けてきました。その中で、一つの課題に気付きました。居場所を必要としていても、そこまで来られない人たちがいます。だから私たちは、**居場所を待つのではなく、届けたい。**そんな想いから、「たゆわごんプロジェクト」は生まれました。



地域を巡る、もうひとつの居場所。



医療法人社団 しろひげファミリー

しろひげ在宅診療所

江戸川区東瑞江3-55-11 / 03-5666-4675

受付時間: 月曜日~土曜日 8:00-18:00

詳しくはこちらを
チェック



HP



YouTube



Instagram

